



# 1学年便り

第 9 号

平成28年2月8日発行

加治川中学校 1 学年部



## 《道徳の授業》



17歳という若さでノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん。マララはパキスタンに生まれ、医師になりたいという夢を持っていました。しかし、パキスタンには義務教育がなく、夢を叶えることができず断念することに。現在は政治家になり、国を幸せにしたいと考えているマララさんの生き方から、子どもたちが学んだことや感想をいくつか紹介します。

自分が今、教育では当たり前と思っているものは、世界では当たり前ではないということが分かりました。こうしている中でも、マララさんは闘っているんだなと思いました。私はマララさんから一人で黙っているより声を上げる方が全然良いのだと学びました。今も一人で正直に話せず黙っている人がいるでしょう。けれど、**声を上げ、正直に話し、正直な人間でいる方が人生で最も希望と勇気を与えてくれる良い方法なのではないか**とマララさんのスピーチや生き方でよく分かりました。今でも教育を受けられない子どもたちが世界中にたくさんいるので、**今自分が教育を受けているありがたさを感じたし、教育を受けられない子どもたちのために何かをしてあげたい**と思いました。

私たちは平和な国に生まれ、多少の嫌なことはあるものの幸せに生活しています。しかし、マララさんは生まれたときから自分の一生が決められていたようなもので、決して幸せではなかったと思います。そして、自分の夢を実現させるため、国の子どもたちに幸せになってもらうため、わずか11歳で声を上げたことに感動しました。私なら自分から声を上げることはできないし、怖くてそんなことはできないと思う。しかし、マララさんは勇気をもち立ち上がった。**そんな姿から堂々とした気持ちや姿を学ぶことができました**。自分にはマララさんのような勇気はないけれど、**自分には何ができるのか、自分が何かをすることでどんな良いことに繋がるのかを考えて行動できるようになりたい**です。

**勉強ができるということは、とても幸せなことだ**と思いました。自分が殺されるかもしれないという中で、**勇気ある行動ができるマララさんは、とてもすごい**と思いました。勇気をもって生きていくことは、とても大切だということが分かりました。

周囲から間違っていると言われても、自分が「～したい」という希望があったら、**あきらめずに努力し訴え続けるという勇気**をマララさんから学びました。また、教育を受けられない子どもたちが世界中にはたくさんいるので、**今、私たちが教育を受けられることがとても大切であり、ありがたいことなんだ**ということを改めて実感しました。なので、**1時間1時間の授業を大切に受けたい**です。

自分のことだけ考えるのではなく、周りの人のことも常に考えているのがすごい。マララさんも学校に行けない子の一人で、**自分たちは学校に通うことができるので幸せだ**と思って、**これからも授業を真剣に受けたい**。私もマララさんのように何とかすれば変わるかもしれないという考えをもって、**声をかけたり指示したりして、もっといい学年にしていきたい**です。

# 《2月の予定》



月	火	水	木	金
8 フッ素洗口 (昼)FFKリハーサル	9 生徒総会 FFK	10 学年朝会 (昼)質問教室	11 2月11日  建国記念日	12 (昼)質問教室
15 フッ素洗口	16 第4回テスト (家・数・国・理) 給食なし	17 第4回テスト (英・社) 授業5時間	18 生徒会優先日	19 PTA評議委員会 
22 フッ素洗口	23 学級優先日 部活動なし	24 学年朝会 1,2年卒業式練習(5限) SC	25 Web過去(国) 全校式練習(6限)	26 Web過去(英) Thank you Week ~3/4
29 Web過去(数) 全校式練習(6限) フッ素洗口				

## スキー教室に行ってきました！！

1月20日(水)新発田市のニノックススキー場へ行ってきました。前日まで大荒れの予報でしたが、みんなの思いが通じたのか、吹雪の中晴れ間も見られました。スキーの経験が少ない人から上級者までレベルは様々でしたが、みんな楽しそうに滑っていました。雪だらけの帽子で顔を真っ赤にしながら「もう一回！滑ろう！」と笑う姿がほほえましく、印象的でした。



